



かおり通信

学校教育目標……『自分らしさを大切にし、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

学校経営目標……『“共にくらす、共に学ぶ、共に育つ” 喜びのあふれる学校をみんなでつくりましょう』

～6年間で育てる 学校全体で育てる～

めざす学校像……『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が

専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校

2020年度 7月号その2

2020年7月10日発行

梅雨終盤の大雨

九州では、大雨による大きな災害が起きてしまいました。他の地域でも記録的な大雨となっています。被害に遭われた方やその地域に対して御見舞を申し上げます。私たちの住む神奈川でも箱根町や山北町など大雨の影響が大きく心配される状況があります。茅ヶ崎でも子どもたちの登下校の時間に突然大雨になるなど心配がつきません。雨風に十分注意してほしいと思います。

茅ヶ崎市では、大雨などの警報が発令された場合（波浪警報を除く）登校を見合わせ自宅待機となっています。連絡メールでお知らせをしていますが、発令のタイミングでは、登校時に間に合わないこともあります。各家庭の判断となることもありますが、安全を第一に考え対応していただきたいと思います。

まだしばらく天気不安定な日々が続きそうです。梅雨明けが待ち遠しい日々です。

香川小学校がめざす実践

香川小学校では、“あゆみ”という形ではない方法で、評価を子どもと保護者に伝えていくことにしました。前々号で“あゆみ”が面談のみになってしまうような伝え方をしていました。学校通信を作成している校長として反省しております。

前号で私たちの議論の概要をお知らせしました。私たちがめざす学習評価の実践は、

- ① 2020年度新学習指導要領が実施される中、授業改革に取り組み、子どもの励みとなる日常の学習評価を大切にしたい学校をめざし実践をしていくこと。
 - ② 日常的に子どもの学びと育ちを保護者に伝え、子どもたちの学習改善や学習意欲につながる工夫をし、実践を積み上げていくことで新しい学校の姿を模索していくこと。
- の2点です。

では、どのような実践に取り組んで行くのか、いただいた質問の答えも含め、現在考えている香川小の取り組みを具体的にお示しします。質問で一番多かったものは、「書面として残るものはないのですか」「面談だけで、終わりですか」「成長の記録としての書面はないのでしょうか」等でした。

私たちのこれからの実践

この取組を保護者の皆さんと一緒に前進させるために私たちは、例えば、子どもの取り組んだ軌跡や成果物をポートフォリオの手法を活用して蓄積し自身の変化を確認したり、単元終了時にご家庭にその評価をお知らせしたり、子どもたちの振り返りを大切にしたいノートや学習プリントにコメントを入れることなどに取り組んでいきます。他にも日常の評価を子どもや保護者のみなさんにお伝えする手段はあると考えています。それらを今後も担任・学年・学校として工夫し、考え取り組んでいきます。

また、学期の終了時には、子どもの自己評価を中心とした振り返り書を作成します。なぜ自己評価を大切にするのか。それは、香川小学校の学校教育目標である「自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成」（自律と共生）をめざすためです。自分らしさを大切にするには、子どもたちが自分自身を見つめ自己評価ができるようになり、自己肯定感を育むことが大切だと考えるからです。この振り返り書を子どもの歩みとして取り組んでいきます。

伝え方の一つ的手段として「面談」を活用していきます。面談では、香川小の学習ビジョンにお示したように、子どもの具体的ながんばりを学校・家庭が共有し、子どもの学習改善・意欲に結びつくように、一人一人の子どもを認め、褒めていくことで、子どもの成長を育んでいきたいと考えています。

保護者のみなさんには、様々な取り組みを子どもの成長の記録として受け止めていただきたいと考えています。

今回の改革は、日々の評価を子どもに伝え、子どもたちが意欲を持って学習に取り組み、自己の学習改善につなげることを目標としています。授業改善、意識改革、評価の伝え方等、より良く進んでけるよう香川小学校は取り組んでまいります。

※7月13日(月)の説明会の様子は、学校HPに載せていこうと考えています。